

平成29年10月22日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
— 第1区 —

選挙公報

投票日 10月22日 日

愛媛県選挙管理委員会

あなたとみなが 暮らす町 松山



Tominaga Kiyo

富永きよ

政策提言



希望の党

富永きよ

とみなが

(50歳)

1 子育てしやすい 未来をつくる

- 女性が一人でも堂々と子どもを生み育てることのできる環境を整え、松山市を「日本で一番子育てしやすい町」に!
- 児童扶養手当の支給期間を20歳になるまで延長し、第二子以降の増額
- 医療費の無料化を中学生までに拡充



2 住み続けたい 未来をつくる

- 定年後もボランティアではなく有償で活躍頂ける制度と場の構築
- 長時間労働からの解放で、仕事を続けながら子育てを楽しむことのできる環境を整備
- 企業誘致による若い人口流入と消費の活性化
- 大街道・銀天街等商店街の大型再整備による駐車場と防災設備の増設

3 安心して暮らせる 未来をつくる

- 健康寿命延伸のため、即実行可能な松山市と市民一体型の健康増進設備の導入
- 万が一の災害時に、避難場所や食料の配布場所などをITを活用し現状を伝えられる環境の整備
- 道路等交通インフラの整備



プロフィール

大好きな正岡子規先生と同じ誕生日、しかもちょうど100年後に生まれる(1967年10月14日生)。
徳島大学医学部卒、聖隷浜松病院、徳島市民病院を経て松山市に痛みで苦しめない人生を医学で導く富永ペインクリニックを開業。
2児を出産した産休期間(3か月×2回)を除き、20年以上、最前線の医療現場で働き続けるワーキング・ママ。
富永きよ HP:<http://tominagakiyo.net/>

社会保障の充実 子育て支援 若者を応援

- 年金削減ストップ、医療や介護の負担軽減を
- 認可保育所の増設、子どもの医療費無料化を国の制度に
- 給付奨学金制度を充実させ学費を半額に

伊方原発は 止めたまま 全基廃炉

- 「原発ゼロ」の社会つくる

中小企業・ 農業を応援し、 地方を再生

「市民+野党」の共闘で
安倍政権に
さよならを

憲法9条守る! 安保法制廃止

北朝鮮問題は
「圧力」一辺倒でなく
「対話」で解決を

加計・森友疑惑を
徹底究明!
首相の国政私物化
許さない

くらしと経済こわす
消費税10%中止に

- 大企業と富裕層に応分の負担を!
- 8時間働けば普通に暮らせる社会へ



いしもと

石本

けんいち

憲一

日本共産党

プロフィール/1947年生まれ。愛媛大学農学部卒。党南予地区委員長など。現在、党県書記長。

比例代表は **日本共産党** とお書き
ください (個人名を書くは無効です)
日本共産党 情報発信中!

平成29年10月22日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
— 第1区 —

選挙公報

投票日 **10月22日** 日

愛媛県選挙管理委員会

① 引き続き、経済再生を目指す。

- 高齢化、人口減少等人口問題を克服し、強い経済を再生する。
- 企業統治改革、規制改革など構造改革を加速させ、生産性の高い、個性ある強い企業を育てる。
- 大学改革とイノベーション力ある国内外の優れた人材の育成を飛躍的に進める。また、個性ある元気な仕事と中小企業をつくる。
- 女性、高齢者、障がい者等全ての人が多様かつ柔軟な生き方や働き方を選択できるよう、働き方改革を実現する。
- 財政健全化早期実現方針は堅持。

—超長寿時代の幸せ戦略—

② より健康に、より持続可能な社会保障制度へ。

- 保健、医療、介護の全面ICT化、がんゲノム個別化医療、AIフル活用などの「データヘルス改革」等を進め、より健康に、より持続可能な社会保障制度を実現する。
- 保険者機能強化、都道府県の役割強化等により国民の健康に対する意識改革を実現する。

③ 超長寿時代に、皆が安心できる「地域共生社会」づくり。

- 子ども・高齢者・障がい者などが、支え、支えられてともに暮らす「地域共生社会」の実現へ、「我が事、丸ごと運動」を推進する。
- 全ての人々に多様な教育・就業機会が用意され、個性的な生き方が可能な社会を実現する。

④ 子どもと家庭を温かく支援する。

- 「子育て安心プラン」、「家事支援税制」等により、待機児童を解消し、子育てフレンドリーな日本を作る。
- 児童福祉法に新たに定めた「子どもの権利」、「家庭養育優先原則」の下、特別養子縁組や里親制度を強力に推進し、子どもの健全養育を実現する。
- 「全世代型社会保障」を実現する。

⑤ 強固な安全保障と、防災体制を構築する。

- 緊迫を増す東アジア情勢下での、日米同盟を基軸とした平和への外交努力、また、日ごろからの防災対策を重ね、国民の生命、財産を強固に守り、世界平和を実現する。



- ◎クルーズ船誘致を含め世界からのインバウンド受け入れを促進する。
- ◎住民とともに取り組んできた松山外環状道路33号線～11号線バイパス線の平成30年度事業化を目指す。
- ◎柑橘をはじめ「攻めの農林水産業」を加速する。
- ◎鳥獣被害対策も強化する。

① 安倍内閣発足後、雇用は185万人増加。

- 正規雇用も一昨年(+29万人)、昨年(+50万人)とともにプラスに。
- 完全失業率は2.8%と、24年2か月ぶりの低水準。
- 有効求人倍率は1.52倍と43年5か月ぶりの高水準。47都道府県で、1倍超え。

② 賃金は着実に増加。「相対的貧困率」、「子どもの貧困率」も低下。

- 春闘は4年連続賃上げ。パートの時給は1,116円と24年ぶりの最高水準。最低賃金はここ5年間で99円引き上げ。
- 「相対的貧困率」(平成27年国民生活基礎調査【▲0.5ポイント】。)[「子どもの貧困率」【▲2.4ポイント】ともに3年前より改善。

経済政策の成果

経済、暮らしは着実に好転。



③ 企業収益は過去最高水準。税収も大幅増加。

- 企業収益は平成24年度48兆円から平成28年度75兆円の過去最高水準へ。
- 税収も、国・地方合わせて22兆円増加し、平成29年度は約100兆円へ。

日本は今、未来のあり方の根本を問う、大きな節目を迎えています。高齢化、総人口の減少等深刻な人口問題の下で、経済をどう鍛え、社会保障をどう持続させるのか。子どもたちの未来をどう創るのか。そして、平和をどう守るのか。厚生労働大臣としての3年間、健康、医療、介護の全面IT化、働き方改革、待機児童解消や子どもの権利の確立など、皆さんの暮らしをよくする改革に取り組みできました。また安倍政権の5年間で、日本経済は確実に元気になりました。賃金上がり始め、有効求人倍率も4年ぶりの高水準です。しかし、構造改革の本当の成果が形になるのはこれからです。日本には素晴らしい底力があります。風任せではなく、地に足を着けたまじめな政策議論をしていきたいと思います。「安心をかたちにして、世界に誇れる日本、愛媛、そして松山を一緒に作っていくために、私は全力を尽くします。」

安心をかたちに。



自由民主党公認
しおざき
塩崎やすひろ
(66歳)

前厚生労働大臣 前衆議院議員

塩崎やすひろ略歴

昭和25年11月7日生まれ。寅年。
東大卒、ハーバード大行政学大学院修士。日銀勤務を経て平成5年 衆議院議員に初当選(衆7回、参1回当選)。元内閣官房長官・拉致問題担当大臣。
本年8月まで約3年間、厚生労働大臣として保健医療・介護改革、子育て支援、児童福祉改革、働き方改革など幅広く取り組む。
家族は妻、息子2人、孫5人と猫2匹。

衆議院小選挙区選出議員選挙
衆議院比例代表選出議員選挙
最高裁判所裁判官国民審査



投票日 10月22日(日)

投票時間は **午前7時から午後8時まで** (一部地域を除く。)

◎投票用紙は、次のとおりです。

- 小選挙区 **薄い桃色の用紙に黒色のインクで印刷したもの**
- 比例代表 **あさぎ色(薄い水色)の用紙に赤のインクで印刷したもの**
- 国民審査 **うぐいす色(薄い緑色)の用紙に黒色のインクで印刷したもの**



愛媛県選挙管理委員会

詳しくは [愛媛県選挙管理委員会](#) で [検索](#)

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられています。